

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-142	A-169	24-064	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
The effects of smoking, alcohol consumption, obesity, and physical inactivity on healthcare costs: a longitudinal cohort study 喫煙、飲酒、肥満、運動不足が医療費に与える影響：縦断的コホート研究			
執筆者			
Kim Y.			
掲載誌			
BMC Public Health. 2025 Mar 5;25(1):873. doi: 10.1186/s12889-025-22133-4.			
キーワード			PMID
アルコール消費、健康リスク行動、医療費、肥満、身体活動、喫煙			40045251
要旨			
<p>背景： 喫煙、飲酒、肥満、運動不足といった主要なリスク要因は、世界の疾病負担と医療費に大きく寄与している。しかしながら、これらの研究には、人口寄与割合 (PAF) の使用に伴うバイアスや不確実性の増大、横断的データにおける逆因果関係の問題といった課題がある。本研究は、縦断的コホート研究を用いて、これらの行動に関連する長期的な医療費を評価することを目的とした。</p> <p>方法： 本縦断コホート研究では、2002年から2019年までの韓国国民健康保険 (NHIS-NSC) 全国サンプルコホートデータベース (NHIS-NSC 2.0) を用いた。コホートには、2002年から2004年に健康診断を受け、既往歴のない40歳から69歳までの個人が含まれる。2010年から2019年までの累積医療費は、対数リンク関数とガンマ分布を用いた一般化線形モデルを用いて、他の健康行動および社会人口学的要因を調整して分析した。</p> <p>結果： 喫煙、アルコール消費、肥満、運動不足は男女ともに医療費を大幅に増加させた。男性の現在喫煙者は非喫煙者よりも13.8%高く、女性の喫煙者は18.6%多く支出した。過去喫煙者は現在喫煙者よりも費用が低く、男性で9.9%、女性で13.2%の減少となった。ほぼ毎日のアルコール消費は男性で21.4%、女性で31.8%費用を上昇させた。また、医療費はBMIカテゴリーによって異なり、重度の肥満は標準体重と比較して男性で26.9%、女性で46.5%支出を増加させた。過体重は男女間で対照的な影響を示し、男性の医療費は3.4%減少したが、女性は7.6%増加した。週1~4回の運動は、運動しない者と比較して、男性で7.6%、女性で7.4%費用を削減した。</p> <p>結論： 本研究は、健康リスク行動の経済的影響を強調し、対象を絞った公衆衛生介入の必要性を裏付けている。また、医療費削減のためには、高リスク群への対象を絞った介入が重要であることも強調している。</p>			